

地域には、子どもたちを一生懸命見守ってくれる方々がたくさんいます。この素敵な地域の力に少し頼ってみるのも、子どもの成長に良い影響を与え、そしてパパママの安心と癒しにつながるかもしれません。第三田名部小学校の通学路で夫婦で子どもたちの通学の見守りをするお二人にお話を伺いました。



近藤 徹・初子 夫妻

児童からももらった感謝の手紙を手にする初子さん。子どもたちがおじいちゃんおばあちゃんのように接してくれることが、いきがいになっているとお二人。

子どもはかわいい。理由はそれだけです

「きつかけは、仕事を退職し時間にゆとりができ、何か地域に恩返ししたいと考えたことでした。その年第三田名部小学校が新校舎として春を迎えていたんです。」

初子さんは小学校を訪れ、学校から許可を得て現在まで学校がある日は毎日通学児童の見守りをするようになりました。今では徹さんも加わり、夫婦そろって子どもたちを毎朝見守ります。

「ちょっとした事情で私が通学路に行けなくなると、しばらくお父さんが立っただけです。それなら、楽しくなっちゃったんです。子どもたちはかわいい

いし、声を掛ければ返ってくるし、甘えてくるし。帰宅する表情がとっても楽しそうでした。だから私、また学校に行つて『うちのお父さんも毎朝通学路に立っていいですか』って。」

徹さんは道路の横断を見守り、初子さんは学校の正面玄関で子どもたちの様子を見守ります。

「例えば1年生の子は、送ってきた保護者の手を離れると泣いてしまいます。だから、あやして玄関の中まで連れて行ったり、先生を呼んであげたり。暗い表情で通学して来た子がいたら、『どうした?』と。友達とけんかしたとか答えてくれます。」

私たちはもうおじいちゃんおばあちゃんの年ですから、それがいいんだと思います。パパママは子育てやお仕事で精一杯。先生方は授業の準備などで忙しいです。私たちが子育ても終わって、体に余裕があることが子どもたちにも分かるんじゃないでしょうか? とてもなついてくれます。スーパードライ物にしても『近藤さん』って言われるんですよ。『おばあちゃん』と呼んでくれる子もいて、本当に子どもたちはかわいい

「子どもたちがお礼にと、歌を歌ってくれたりして喜ばせてくれます。卒業するときには手紙までくれて、とっても嬉しいですよ。」

近藤さんご夫妻は毎朝見守り活動をする理由を「子どもはかわいいから。それだけです。」と言います。

過去には共働き家庭の子どもの面倒を両親の仕事が終わるまでみた経験も。わたしたちのまちには、こんなに素敵な方々がたくさんいます。



雨の日も風の日も

道路を安全に横断させるだけでなく、子ども様子も見守ります。「返してくれるまで、3回も4回も『おはよう!』って、あいさつしたりしてます」と徹さん。

生後2~4か月の子どもの対象に「こんにちは赤ちゃん事業」として、訪問員がご家庭を訪問しています。訪問員は、赤ちゃんの成長の具合を見るばかりではなく、日中赤ちゃんを二人きりになることが多い「ママ」の力になれるよう、相談相手としての役割も担っています。ぜひ、いろんなことを相談してみてください。

子育ての中心になりがちなママを孤立させてはいけません

「私たちの一番の目的は、まずは市が作成している子育てガイドブックを差し上げること。そしてむつ市のいろんな子育ての情報を提供することです。」

むつ市は転勤されてお住まいになるパパママ世代が多いまちだと鈴木さんは言います。

「今日訪問させていただいたお宅もそうでした。知り合いも親戚も誰もいない。そんなママたちに、『相談できる場所はここ』というところを『遊ばせ』と『遊びに行けるのはここ』というところですよ」という情報を提供します。どうしても子育ての中心になってしまう『ママ』を孤立させてはいけません。」

子育てに関する情報の大切



こんにちは赤ちゃん訪問員 鈴木 裕子 訪問員

看護師として岩手医大病院での勤務経験も。自身の子育て経験も踏まえた、ママが知りたい情報の提供を心がける。

「私は岩手県出身で、結婚して下北に住みました。当時は、小児科がどこにあるのか、どのバスに乗ればどこに行くのかも分からないなかで4人の子どもを育てていたと思います。」

でも、本当はママが楽しく子育てできるというのが一番。あのときもうちょっと遊んであげたかったな、もうちょっと遊んであげてあげればよかったなって、子どもが大きくなってから思うことがたくさんあります。」

『大丈夫なんだよ』って、今なら伝えてあげられます。自分ができるなかったことの反省を還元できればと思って頑張っています。」

鈴木さんに、今のむつ市の子育て事情をお聞きしました。

「パパがお風呂やおむつ替えを積極的に頑張ってくれるとよく聞きます。最近のパパはずいぶんいいと思います。それでも、2か月を過ぎると赤ちゃんはおっぱいの時間もばらばらになつてきたり、ぐずったり。ママは休めません。だんだんストレスが溜まったり辛くなってくるママもいます。そんなとき、

インターネットで解決策を検索するママも多いようです。ただ今は情報量が多すぎます。どれを信じればいいのか、それが本当でどれが嘘なのか判らない。そういうときに、もうちょっと気軽に相談できる場所があったらいいのかなと思います。」

もちろん私たちにいつでも相談して下さって構いません。市役所に電話するということとはママにとっても大きい出来事だという気持ちも解ります。」

もう少し気軽に電話1本で「どうしました?」と言つてもらえる環境がたくさんあれば、きっとママたちの子育ても楽しくなるのではないかと思います。」



むつ市子育てガイドブック

市児童家庭課が作成した子育てガイドブック。悩みごとや子どもの具合が悪いときの相談先、子育て支援施設や活動サークルの一覧などが掲載されています。

安全第一

「交通ルールとマナーを守る」ということも子どもに優しいまちにつながる



第三田名部小学校前の道路。直線が続く道路は使い勝手が良く、スピードを落とさない車も多いという

万が一、減速しないまま通学する子どもたちの列に衝突したら…。子どもたちが安心して通学できる、そしてパパママが安心して送り出せる、そんなまちになるために交通ルールとマナーを守ることも大切です。

日々の生活のさまざまなことが、まちぐるみで子育てすることにつながっています。今日も安全運転で過ごしましょう。

訪問員さんのアドバイス! 悩み事や気になること、こんなところでも相談できます。

市役所などの行政機関は、子育てに関するさまざまな相談に対応していますが、行政機関のほかにも、子育てを支援しているところはたくさんあります。上手に活用して、悩みや気になることを解決すれば、子育てもきっと楽しくなりますよ!

夜間に子どもの具合がおかしい…そんなときは「こども救急電話相談」 「様子を見る?」「急患で受診する?」「救急車を呼ぶべき?」判らないときは、電話一本で看護師さんがアドバイスしてくれます。

利用可能時間 毎日午後7時~翌朝8時
☎017-722-1152 (携帯電話やプッシュ回線電話からは局番なしの#8000)

市が事業を委託している子育て支援センターも身近な相談先です!

- 大平保育園地域子育て支援センター (大平保育園内) ☎24-5117 (月~金 9:30~15:30までセンターを開放)
- 柳町ひまわり保育園子育て支援センター (柳町ひまわり保育園内) ☎23-1970 (月~金 10:00~15:00までセンターを開放)
- 大畑中央保育園子育て支援センター (大畑中央保育園内) ☎34-5100 (月~金 10:00~15:00までセンターを開放)

全力でサポート

